

創ろう！文化を自治をまちを

東大和タウンマップ

第二期 第28号

編集・発行：中野しのぶ

電話&Fax 042(567)1480

〒207-0013 東大和市向原6-1180-5

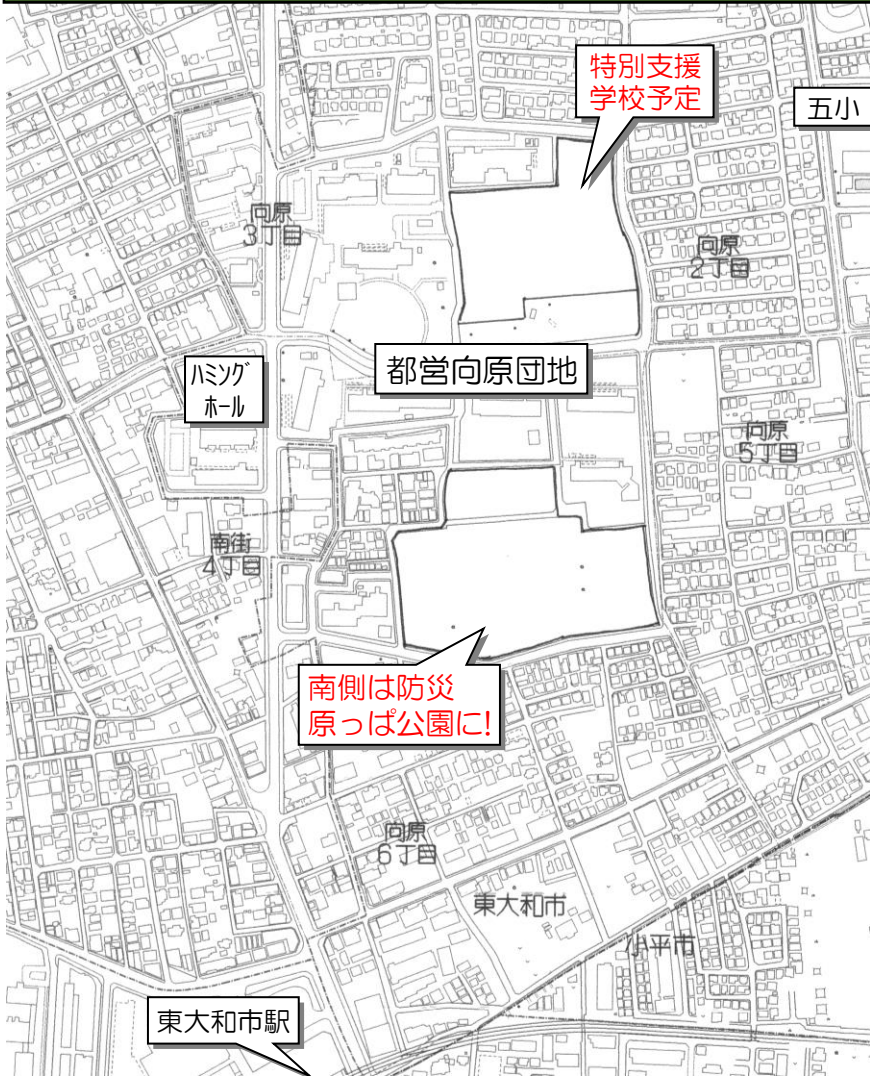
[Email] townmap@jcom.zaq.ne.jp

[HP] 休止中です

2019年

3月25日

住宅密集地だからこそ防災原っぱに!!



都営向原空き地提言② 『北は支援学校／南は原っぱ』に 当紙提言「防災原っぱ公園」構想に賛同の声 東大和市も特別支援学校の受け入れを表明!!

前号で都営向原団地創出用地（以下、空き地）北側には東京都が求める知的障害者の特別支援学校を、南側の空き地は大震災に備えた「防災原っぱ公園」にすることを求める東大和タウンマップ提言に多数の賛同の声が寄せられた。

また、東大和市は3月市議会でもようやく特別支援学校の受け入れを表明。都との協議はこれからだが、事態は動き出した。今後は南側空き地を「防災原っぱ公園」とするため、都と市に対する提言を行っていききたい。

〔文責・編集部〕

特別支援学校を市長表明

前号でも述べたが、市は南北の空き地に定期借地の住宅建設を求め、人口減少対策として必要だと主張していた。

しかし、東京都自身がすでに2015年策定の『東京都総合戦略』の中で、人口流入の流れは「個人個人の意思反して政策的に誘導することは困難」と述べ、小手先の対策では人口減少対策にならないことを指摘している。

そのための東京都は、魅力ある街づくりや防災に強い街づくりなどを行うことが必要だとして、総合戦略の中で都営住宅建て替えによる空き地は、福祉などで活用するよう促していた。その意味で、都が深刻な教室不足に悩む特別支援学校建設を市に打診したのは、当然の判断といえる。

こうした中、東大和市の3月議会でも複数の議員から、市は特別支援学校建設を早期

防災原っぱの重要性

一方、人口減少による自治体衰退の危機をある論調が目立つ中、全く逆の視点で評価する意見もある。『人口減少時代の都市』諸富徹（中公新書）では「人口減少をチャンスと捉え、公園や緑地帯面積を増やせば、都市の風格を高めることもできるだろう」と指摘する。

実際、都市部での緑地の多さは不動産価値を高める要素

に受け入れるべきだと追及され、最終的に尾崎市長は前向きに受け入れることを表明。ようやく都営向原団地の空き地の活用が、動き始めることになった。

であることは知られている。それ以上に、この向原や隣接する南側地区は住宅密集地であり、その密集地に更に住宅を造ろうという市の発想がそもそも理解し難い。

すでに東大和市は、多摩直下地震や立川断層帯地震が発生した場合、最悪100人前後が火災や倒壊で死亡する可能性を想定（東大和市地域防災計画より）している。当然向原と南側はその対象に入っている。だからこそ、防災目的の広場が必要だし、南側空き地はそのための場所として最適地であると考ええる。

また、3月市議会での実川議員の一般質問で、東大和市には災害時の非常用電源が市庁舎にしかなく、それも3日程度しか対応出来ないことも判明した。ならば、太陽光発電による非常用電源をこの場に設置したり、今後の街づくりに欠かせないエネルギーの地産地消を担う太陽光発電のパワーステーションを構築するのが得策だと考える。

もちろん、普段は散策や軽スポーツが出来る場として、バザーなどイベントが出来る空間として維持していけば、様々な活用が期待出来る。

都営向原団地の南側空き地は、そうした「防災原っぱ公園」として活用する提言を都と市に行っていきたい。

■市民の皆様からのご意見・提案等をお寄せ下さい。手紙やメールでお願い致します。

カフェレストラン

PACE パーチェ

火・水・金（祝日含）

AM11:30~PM2:00

<http://pacekeyaki.web.fc2.com/>

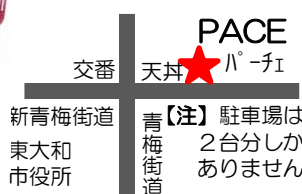
シフォンケーキ・チーズケーキ 始めました!

ランチ 680円 (サラダ・スープ付)

ランチドリンク付 830円



★どのような障害があっても働き、学び、憩える!



障害福祉サービス事業所

PACE (パーチェ)

(就労継続支援B/生活介護)

東大和市奈良橋5-814-14

TEL042-843-6375

月~金 開所(祝日も開所)

※通所時間は9:30~15:30です。

地域主権政治めざして「やまとみどり」

市政を語る会

4月6日(土)

午前10時~12時 ハミングホール会議室

◇入場無料。東大和市政・市議会を自由に語る場です。
◇お問い合わせはTel080-9356-5573 大川事務局長。



床鍋 義博
《市議会議員》

2期/54歳。
明治大学大学院卒。◇MBA(経営管理修士) 公認内部監査人。東大和市監査委員(議会選出)、行政書士ほか。



大川 元
《事務局長》

38歳。明治大学史学地理学科卒。元陸上自衛隊儀仗隊員。◇民主党国会秘書を経て、現在看護師として医療現場に。



中野志乃夫
《市議会議員》

6期/62歳。青山学院大学史学科卒◇東大和タウンマップ代表、NPO法人理事長。精神保健福祉士、介護福祉士ほか。

街角情報

会場★文具丸
セブソリアブソ
中央通り
グヨリハス
住所：東大和市中心 1-16-1~2F

日頃がんばっているあなたに、笑顔と癒しを 美活♪健康♪FESTA

3月31日(日)10:00~16:00

日頃がんばっている あなたに、笑顔と癒しを

癒しのnail salon polaris ご自分へのご褒美♡ お手元からおしゃれはじめてみませんか? ネイルケア体験 15分 1,000円 ジェルネイル体験 30分 2,000円 ジェルネイルアート付き 10本 3,000円 事前予約 080-3171-1840	世界遺産喜望峯御膳バー 天然石アレスレット作り体験 好きな天然石を選んで世界で一つのオリジナルアレスレットをつくろう 事前予約 080-3171-1840 2000円~	依負チセツク&薬膳茶づくり 1日 1,000円 薬膳茶とは季節や体質にあわせたお茶のこと。「気血水」を整える貴女だけの薬膳茶を作りましょう。 ご予約・問合せ anu@yakuken-anu.jp <薬膳アニュー>	アイシングクッキー miiiii 色々なクッキーを1つ300円から販売します。
カイロプラクティック&美容カイロ ◎全身調整 15~20分 2,000円 ◎背骨+ヘッドスパ 20分 2,000円 ◎フェイシャルトリートメント 20分 2,000円 ご予約 お問い合わせは 090-8451-4274 受付まで	ミョウアの ●東京産オーガニックオーリーブオイル(天日干し) ¥1500 ●無添加さくらんぼ天然酵母のパン1袋 ¥300 ●無添加天然色素のデコパン1枚 ¥100 ●フレッシュサラダ発酵酵素玄米ご飯 ¥500 ※オーリーブオイル付き 各 2000円	龍の色紙メニュー (キョウトドラゴン) 赤二色紙(キョウトドラゴンのみ) 500円 赤色紙 中サイズ(30分で作成) 1,000円 赤色紙 普通サイズ(30分で作成) 2,000円 あなたのビジョンを龍(キョウトドラゴン)で色紙に描きます。 舞臺も豪華なイラストレーション4,000円(送料込み) 赤色のポストカード数種販売 300円 赤色カレンダー(壁掛け・卓上) 各2,000円	こころ性いのちの相談室 【木のメソッド 20分 2000円~】 現在の悩みを自然から学ぶ本で見て、その原因がどこから来ているのかを診断・解決いたします。 【性のお悩み 10分 1000円~】 パートナーや自分のご自身、身近な人に相談しにくい「性」のお悩みを、あなた自身の経験をもとに、あなたの悩みを解決していただきます。
アロマヒーリング ヨミコミュニケーション 届いてますか? ペットの声 あなたの大切な家族であるペットとあなたがもっと繋がれるようにメッセージをお届けいたします アロマヒーリング & コミュニケーション お一人様 30分 3500円	月のうさぎ 赤ちゃんも使える アロマオイルで身体にも心にも優しいハンドトリートメント ご予約お問い合わせはこちら 各 1日 1000円	アーシューヘア ●眉デザインカット 500円 ●まつ毛パーマ 2000円 ●まつ毛エクステ 30分つけ放題(回目約40本) 2000円 ご予約お問い合わせ 042-531-9952	牛すじ煮込 一階野外ブース

どっぽ サロン コンサート

◇ギターでつづる名曲アルバム◇
出演：荒居等 (ギタリスト)

さくら(古謡)、なごり雪、スカポローフェア、早春賦、浜辺の歌、紅葉、雪の降る町を、冬景色、禁じられた遊び、アランフェス協奏曲第二楽章ほか

5月12日(日) 14:00~(要予約)
2,000円(コーヒ・ケーキ付) 定員30席
「喫茶どっぽ」にて 申し込みTel564-3249

~習い事ではなく夢をかなえるために~

荒居ギター教室

arai-guitar.jp
Email: arai-guitar@muf.biglobe.ne.jp
〒207-0011 東大和市清原 1-1-32-301
TEL 042(564)3249

“やすらぎといこいの空間ここにあり”

喫茶・軽食

どっぽ

10:00AM ~ 9:00PM
(7:00PM以降は予約制)
日曜祝日定休 駐車場あり
TEL (565) 5182 東大和市南街 1-19-5

東大和病院
床屋★
どっぽ
東大和市駅↓

憲法カフェ例会 4月27日(土)13:30-15:30

テーマ「基地問題(辺野古からオスプレイ etc)」気楽にご参加を!!
カフェレストラン PACE (パーチェ)にて
◆参加費 600円※ケーキ付ドリンク ☎042 (843) 6375

◆「エネルギーの地産地消」という言葉をご存知でしょうか。食品の地産地消の視点をエネルギーに例えたものですが、太陽光や風力や水力など自然エネルギーを使って地域の電力をまかなうことです。このエネルギーの地産地消が全国に広がりをみせ、地域によっては利潤も生み出し、注目を浴びています。

◆東大和市ではどうでしょうか。また、自治体としての試みはないのですが、東大和エネルギーの会の試算では毎年40億円の電力会社や原発メーカーに活かしていることが報告されています。

一方で提言した「防災原っぱ公園」も、周囲に太陽光パネルを設置した回廊を設け、災害時の非常用電源をまかなうことなども構想しています。人口減少の時代の波にただ住宅を増やせば何とかなる、そんな時代遅れの発想でなく、新しい街づくりの発想が必要であることを訴えます。

編集後記



東大和タウンマップ代表
中野しのぶ

と結託。自然エネルギーの普及を妨げるような政策を行い、この分野で世界に遅れを取る残念な現実があります。しかし、それでもわずかな機会を活かして、地方では自然エネルギーの街づくりを始めています。福岡県みやま市では太陽光を主に使った発電システムで利潤を生み、それを福祉に活かしていることが報告されています。

気代が、市内から東京電力に支払われています。その一部でも街全体に太陽光発電システムを構築して、エネルギーの地産地消が出来れば、地域経済の活性化にもつながり、北海道で起きたブラックアウト大停電も防げるなど、一石二鳥どころか何鳥にもなる利点が見出せます。